

カヤネズミは、親指大の日本で一番小さいネズミです。オギやススキ、ヨシなどがまとまって生える草はら（カヤ原）を主な生息地とし、それらの植物の葉を割いて編んだ球形の巣で子育てをします。主な食べ物は、エノコログサなどの小さなイネ科の種子や、バッタなどの昆虫です。その習性から、良好な河川や草地環境の指標種とされますが、近年の河川改修や開発などの影響により、草地環境が悪化して、全国的に個体数が減少しています。大阪府のレッドリストでは、準絶滅危惧種に選定されています。

# カヤネズミに会いに、 身近な草はらへ

第1回  
大阪府内  
カヤネズミ  
一斉調査

大阪府内のカヤネズミの生息状況については、淀川や大和川など、水系ごとの調査は実施されていますが、これまで府内全域の調査は行われていません。



そこで、大阪府内のカヤネズミの生息状況と草地の現状を把握し、草地や水辺の生物多様性保全に役立てるために、一斉調査を実施します。今回の調査は大阪府内で初めての全域的な調査になります。ぜひともご協力をお願いします。

府内  
一斉調査  
9月-12月

カヤネズミの秋の繁殖期にあたる9月～12月に、お住いの周辺や活動場所などで、草地の状態やカヤネズミの生息の有無を、任意に調べていただきます。記録には、裏面の調査用紙をお使い下さい。調査結果は、各地で市民が草地保全に取り組む際に、活用しやすい形にまとめる予定です。ご協力いただいた方には、調査のまとめをお送りします。

※周辺に適当な草地がない場合はお問合せ下さい。お近くの調査候補地をご紹介します。

キックオフ  
集会  
10月7日(土)

## 講演会と第1回モデル調査

募集：70名(申込先着順) ※どなたでも参加できます。

13時30分～16時(開場13時～)

場所：日本研修センター十三および  
淀川河川公園・十三野草園

内容：13時30分～14時30分

講演「大阪の草地とカヤネズミ」

島 佐代子(草地生態系研究会代表、  
全国カヤネズミ・ネットワーク代表)

15時～16時(現地解散予定)

淀川河川公園・十三野草園で富先生  
指導によるカヤネズミモデル調査

第2回  
モデル調査  
10月21日(土)

8時40分～12時(現地解散予定)

場所：淀川河川敷・鶴殿(小雨決行)

JR高槻駅改札口 8時40分集合

(高槻市営バス 9時5分の道鶴町行きに乗り)

淀川河川敷・鶴殿で富先生指導による  
カヤネズミ・モデル調査

※カヤネズミ調査の経験がない個人・グループの方は、モデル調査に必ず1回はご参加下さい。巣の探し方や記録の取り方、フィールドマナーなどをレクチャーします。グループの場合、代表の方のみの参加でも結構です。

調査の出来る服装(長袖・長ズボン・帽子・手袋・底の厚い靴)+飲料水を持参してご参加ください。  
参加費：200円(傷害保険代+資料代) <当日連絡先：090-8126-5160(金谷)>



大阪市淀川区十三本町1-12-15  
ドルチェヴィータファースト3F  
TEL.06-6302-4040

申し込み  
問合せ先

参加ご希望の方は、第1回・第2回のどちらか明記の上、住所・氏名・年齢・性別・同伴者の名前と年齢・電話番号・FAX番号・メールアドレスを記入し、はがき・FAX・Eメールのいずれかにて、下記にお申し込みください。

公益社団法人 大阪自然環境保全協会 〒530-0041 大阪市北区天神橋1-9-13 ハイム天神橋202

●TEL.06-6242-8720 ●FAX.06-6881-8103 ●E-mail.office@natute.or.jp